

おわりに

日本人にとって終戦の日は、天皇の玉音放送の
あった8月15日と思われていますが、まだ、
武装解除(*45)も行われていない状況では、国際
法(*46)では戦争は続いていたことになります。
完全に敗戦が確定するのは9月2日の戦艦ミズーリーでの降伏文書の調印式の終了後です。
また、このときの国際情勢がこの三船にとって
最悪の結果をもたらしました。その後のアメリカ
とソ連との覇権(*47)争い、東西冷戦(*48)の序章
(*49)です。ソ連は北海道北半分占領のための作
戦中でした。ただ、アメリカの同意が得られず
断念したのです。ソ連が1日早く作戦を中止して
いればこの惨劇は起きなかつたこととなります。

* 45 武装解除

降伏者・捕虜などから強制的にその武器を取り上げること

* 46 国際法

国際法とは、国際社会を規律する法をいう

しかし、三船に乗船していた引き揚げ者の多くが女性と子供という非戦闘員であったこと、白旗を掲げて戦闘の意思がないことを示したにもかかわらず一方的な攻撃を受けたことなど、ソ連潜水艦攻撃を正当化することはできません。第二号新興丸は自衛のために反撃をしたことから、何とか留萌港に入港できたのです。

これもすべて戦争という人間性を否定する殺人を正当化する行為がなせるものです。

私たちちはこの三船の悲劇を後世に伝えて、この惨劇が2度と起きないようにしていかなければなりません。

*47 眇權 現実の国際政治・外交の世界においては、他国を圧倒する勢力

*48 東西冷戦 第二次世界大戦後まもなく、世界各国が米国を中心とする資本主義国とソビエト連邦を中心とする社会主义国に大きく二分されて生じた対立関係のこと

*49 序章 本題に入る前に前置きとして置かれた文章